



鷺見 達夫 議員 中野 治郎 議員 津田 新三 議員 本郷あけみ 議員 竹内 基二 議員
堀井 幸男 議員 佐藤 健司 議員 北林 肇 議員 北村 正二 議員

ごあいさつ

市民の皆様におかれましては、まずまずご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より大津市議会へのご理解とご声援を賜り、心よりお礼申し上げます。

このたび、私たち9名の議員で新党派「湖誠会」を結成いたしました。

今年4月から大津市は中核市に移行し、県から移管された大津市保健所を中心とした新型インフルエンザへの対応など、さっそく中核市としての真価が問われている現状です。

湖誠会は市民の皆様の声に「誠心誠意」向きあうことを原点に、大津市議会最大党派として、また目片市長を支える与党として、時代の変化に柔軟に対応できる新しい大津市政を強力に推進してまいります。

湖誠会の所属議員一丸となって、市民の皆様が住んで良かった、住み続けたいと心から実感していただける大津市を実現できるよう活動してまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

幹事長 北林 肇

湖誠会を結成しました!

目片市長と懇談(6月5日)

市内で感染者が発生した新型インフルエンザの対応などについて目片市長と懇談しました。保健所を中心とした今回の対応をしっかりと検証することを求めるとともに、今後の危機管理体制のあり方などについて意見交換を行いました。



湖誠会は議会改革に

積極的に取り組めます

地方分権の進展に伴い、地方議会が果たすべき役割の重要性はますます高まっています。これまで大津市議会においても本会議のインターネット中継の導入や議決の対象の拡大など、市民の皆様にわかりやすく開かれた議会づくりに取り組んでまいりました。

こうした中、さらなる議会審議の活性化や政策立案の強化などを目指し、議会活性化検討委員会が設置されることになりました。

検討委員会の委員長には、湖誠会の堀井幸男副議長が、また副委員長には北林肇幹事長が就任し、議会改革に向けた議論の取りまとめにあたります。



会派役員

- | | | | |
|------|------------|----|------------|
| 幹事長 | 北林 肇 (4期) | 幹事 | 津田 新三 (1期) |
| 副幹事長 | 佐藤 健司 (2期) | 幹事 | 中野 治郎 (1期) |

私たち湖誠会に皆様の声をお寄せください。



きたばやし はじめ
北林 肇

〒520-0011
南志賀二丁目19-2
● 議会運営委員会委員長
● 総務常任委員会委員
● 地域活性化・
観光振興対策特別委員会委員



ほりい ゆきお
堀井 幸男

〒520-0043
中央三丁目4-16
副議長
● 生活産業常任委員会委員



さとう けんじ
佐藤 健司

〒520-2153
一里山一丁目1-13-1305
● 議会運営委員会委員
● 教育厚生常任委員会委員
● 防災対策特別委員会委員長



きたむら しょうじ
北村 正二

〒520-0528
和邇高城270-28
監査委員
● 施設常任委員会委員
● 地域活性化・
観光振興対策特別委員会委員



つだ しんぞう
津田 新三

〒520-0242
本堅田五丁目9-15
● 教育厚生常任委員会委員
● 交通対策特別委員会副委員長



なかの じろう
中野 治郎

〒520-0113
坂本三丁目11-37
● 生活産業常任委員会副委員長
● 交通対策特別委員会委員



たけうち もとじ
竹内 基二

〒520-0836
杉浦町19-16
● 総務常任委員会委員
● 競輪事業調査特別委員会
委員長



ほんごう
本郷あけみ

〒520-2144
大萱二丁目26-29
● 施設常任委員会副委員長
● 防災対策特別委員会委員



すみ たつお
鷺見 達夫

〒520-0843
北大路一丁目11-32
● 総務常任委員会委員長
● 地域活性化・
観光振興対策特別委員会委員

こせikai
**大津市議会の新しい会派「湖誠会」は
よりよい市政のために誠心誠意頑張ります!!**



市議会定例会

6月定例会において、湖誠会からは4名が一般質問を致しました。
その一例をご紹介します。

Q 本郷あけみ議員

市内で新型インフルエンザ感染者が確認されたが、その際実施した行動計画暫定版での庁内体制の反省を踏まえ、総合防災課に危機管理の役割を持たせ機能強化を図ることだが、今後の検証や見直しは？

A

現在、各部署等において、市民への影響など、情報を集約しているところである。今後、集約情報を検討し、今後の対策に取り入れたいと考えている。

さらに、小康期における検証作業を行い、各部署の対策、役割分担を整理し、8月を目標に同計画の策定を予定している。併せて、具体的な行動を記載したガイドライン、本市新型インフルエンザ業務継続計画を策定し、より細部にわたる業務の拡大、縮小などの課題に取り組んでいく。

Q 津田 新三議員

国の補正予算における地域活性化・経済危機対策臨時交付金、限度額7億6千万円の活用を大津市はどのような取り組みの中で、活かそうとするのか？

A

5月末成立した国の平成21年度補正予算で本市では7億6千万円の交付金が見込まれる。地域における公共投資を円滑に実施できるよう、「地域活性化・公共投資臨時交付金」が措置されており、その他「子育て応援特別手当の拡充」や「女性特有のがん対策」なども含まれている。現在、各部署を通じて情報収集を行っているところだが、早急にその内容を取りまとめたうえで、本市の実情に応じた施策を展開し、市民生活の安定と向上、さらには地域経済の回復にその成果が現れるよう適切かつ効果的な時期に補正予算の編成が必要になると考えている。

Q 中野 治郎議員

地域と学校が一体となり、子どもの育成を地域ぐるみで支える、地域にあった体験活動学習に対する評価は？

A

学習活動を通して地域の方々とのふれあい、絆を深めることは、地域コミュニティの高まりや子どもが育つ環境づくりの視点からも大切なことであり、社会全体で子どもを育てることにつながる。今後、魅力ある学習活動を通して、心豊かでたくましく育つ教育の実現に向け、地域の教育資源を生かしながら、より一層地域と学校が融合した体験活動につなげていきたい。

Q 竹内 基二議員

大津草津線、近江大橋西詰交差点改良及び6車線化と今後のスケジュールについて

A

変更となった当事業については、5月末に滋賀県道路公社が近江大橋西詰交差点改良工事地元対策協議会に対し説明した内容によると、橋梁部を90mにわたって拡幅することを含めた交差点改良と、当交差点から由美浜交差点までの820m間の6車線化改良が実施されることとなっている。今回の工事については、6車線化に向けて、当面、湖岸側の車道を2車線拡幅し、工事期間中、できるだけ4車線を確保することで、工事による渋滞の発生を極力回避する計画となっている。

平成24年9月の近江大橋無料化を前にして、道路拡幅工事、橋梁工事とも今年から本格的に着工し、平成24年3月の完成を目標に進められると聞いている。